

資料3

「.jp」、「.日本」ドメインの関連づけについて

平成21年2月10日

ドメイン登録者の確認について

○ 「.jp」、「.日本」ドメインの関連づけにおいてドメイン登録者の確認が必要なケース

「.jp」と「.日本」の管理運営事業者が異なる場合、下記のケースにおけるドメインの登録者の確認が問題

(1) 完全に一致させる場合（「総務省.jp」と「総務省.日本」の登録者を必ず同じとする場合）

→ 「.jp」、「.日本」の管理運営事業者が登録申請ごとに相互に確認することが必要

(2) 分離とするが、初期登録期間において「.jp」登録者の優先登録権を認める場合

→ 「.日本」の管理運営事業者が初期登録期間中の申請について、「.jp」の同一ドメインの登録者を確認することが必要

※ 完全分離であれば、費用・負荷は発生しない

【参考】「.jp」での優先登録の例

汎用JPドメイン名を導入する際、「example.co.jp」、「example.ne.jp」等の登録者に「example.jp」の優先登録を行った例がある。（競願時には、基となるドメインの登録日時が早い方が優先）

各事業者の対応

		対応が必要な期間	既存事業者(JPRS)の対応	新規事業者の対応	費用
タイプ1 完全に一致		永続的	常時登録情報を共有し、申請を受ける度に、 ①双方のドメイン名空間が空いているか、 ②もう一方のドメイン名空間が登録されている場合には、申請者が同一かどうかを確認し、登録する		1億5千万+5千万/年 +5百万/レジストラ 程度
完全に 分離	タイプ2 「.jp」登録 者の優先 登録有	初期登録期間のみ	ある時点での「.jp」登録情報を提供	提供された「.jp」登録と「日本」申請者が一致していることを確認し、優先登録する	5百万円～ +3～5百万/レジストラ 程度
	タイプ3 「.jp」登録 者の優先 登録無	対応無し (商標保有者等向けのサンライズ期間は別途設ける)			

参考資料

対応付けタイプ間比較

	利用者の混乱のなさ	JP既登録者の満足度	JP登録できなかった人の満足度	TLD間競争の促進	備考
タイプ1 完全一致	○	○	×	×	JPRSが両レジストリとなれば追加費用は発生しない。レジストリが異なった場合には同一登録規則を持たねばならないため両者に足かせがあり、自由競争とならない
タイプ2 完全分離 (「.jp」優先登録期間有)	△ 一致しないなら、完全分離の方が結局混乱が少ないという意見もある	△ 保護のためであれ一定期間のうちに申し込まねばならない	×	○	
タイプ3 完全分離	△	×	○	○	

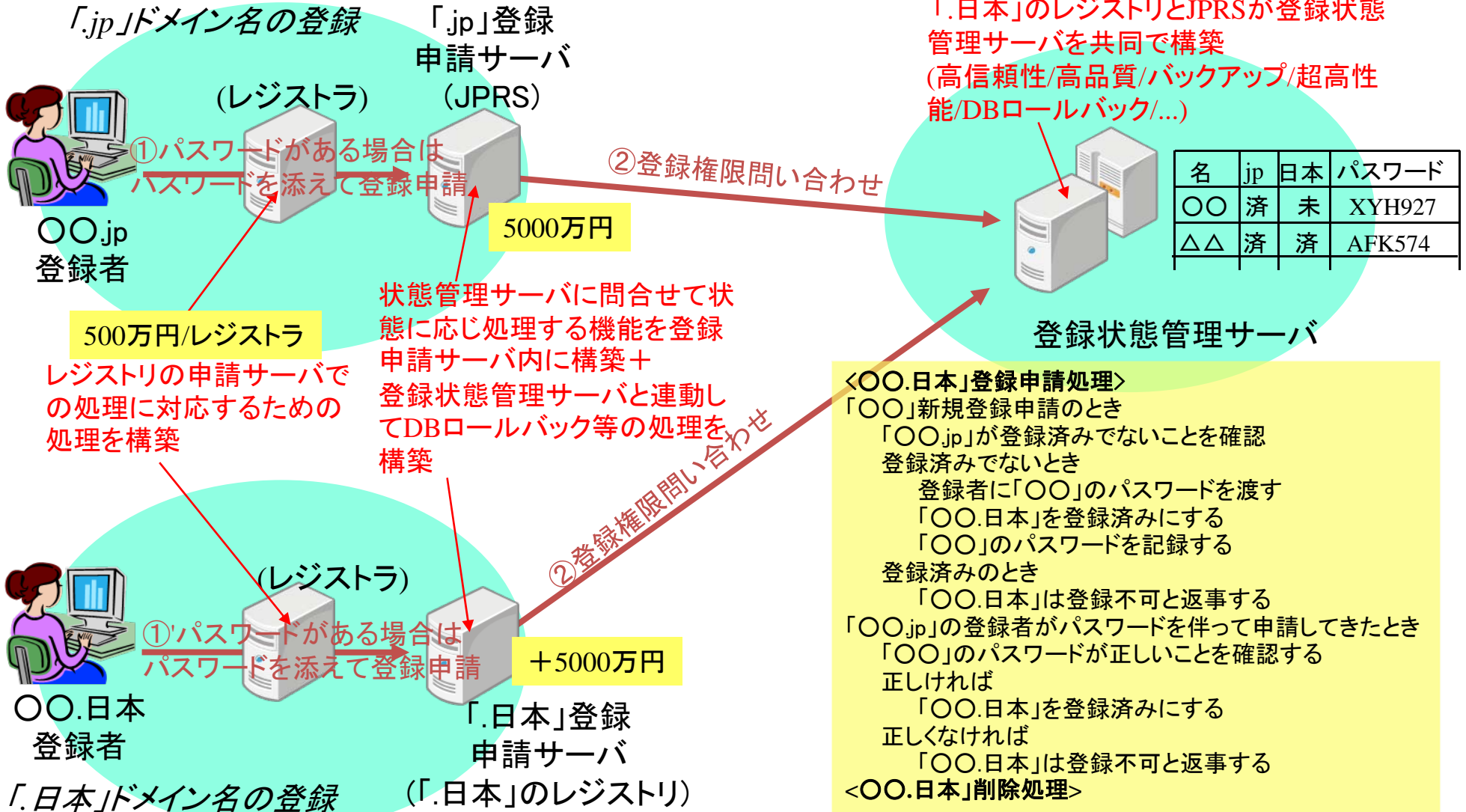
タイプ2(完全分離・「.jp」優先登録期間有)の実現方式

方式のオプション	JPドメイン名登録者への周知の公平性	JPレジストラ協力が不要	登録者一致性の正確さ	不正登録や過誤登録がない	備考
2-1 JPRSが〇〇.JPドメイン名登録者にパスワードを送付し、各登録者はそのパスワードを使って〇〇.日本の登録申請をする	○	△ 登録者情報精度向上はJPレジストラ協力が必要	○	○	登録者情報が間違っていたり代行登録があったりするとパスワードが届かない
2-2 JPRSが〇〇.JPの管理指定事業者にパスワードを渡し、そのパスワードを使って当該指定事業者が登録者の要請に応じ〇〇.日本の登録申請をする	○	○	○	△ レジストラが介在する分、不正や過誤が増加するおそれ	同一指定事業者からしか申請できない
2-3 JPRSが〇〇.JPの管理指定事業者にパスワードを渡し、さらにそのパスワードを登録者に渡し、〇〇.JPの登録者が〇〇.日本の登録申請をする	○	× メリットがないのに協力が必要	○	△ レジストラが介在する分、不正や過誤が増加するおそれ	別指定事業者からでも申請できる
2-4 〇〇.日本の登録申請があったときに、〇〇.JPの登録者のWhois情報との一致性を確認する	×～△ 周知方法による	○	△	△	公開データだけを使って、認証することには無理があるという意見と、メールアドレスを用いた確認が出来れば十分ではないかとの意見がある

注: タイプ1,タイプ 2-3については、レジストリ側でパスワードを生成せず、登録者がパスワードを決める方法もある

タイプ1に必要な処理

(2サーバ+DB+iDC+運用)×2サイト+ソフト開発
5000万/年 5000万円



<〇〇.日本」登録申請処理>

「〇〇」新規登録申請のとき

「〇〇.jp」が登録済みでないことを確認

登録済みでないとき

登録者に「〇〇」のパスワードを渡す

「〇〇.日本」を登録済みにする

「〇〇」のパスワードを記録する

登録済みのとき

「〇〇.日本」は登録不可と返事する

「〇〇.jp」の登録者がパスワードを伴って申請してきたとき

「〇〇」のパスワードが正しいことを確認する

正しければ

「〇〇.日本」を登録済みにする

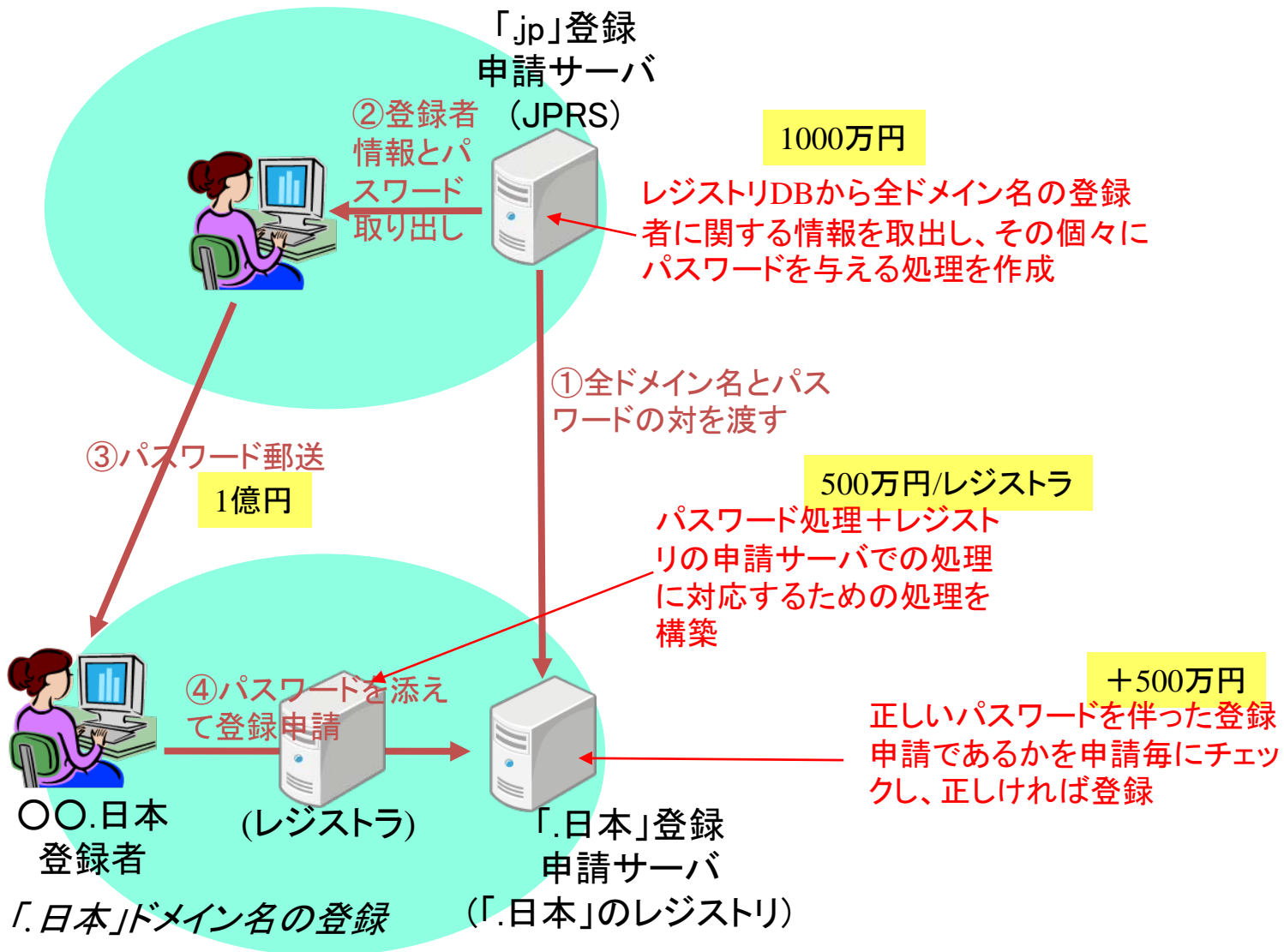
正しくなければ

「〇〇.日本」は登録不可と返事する

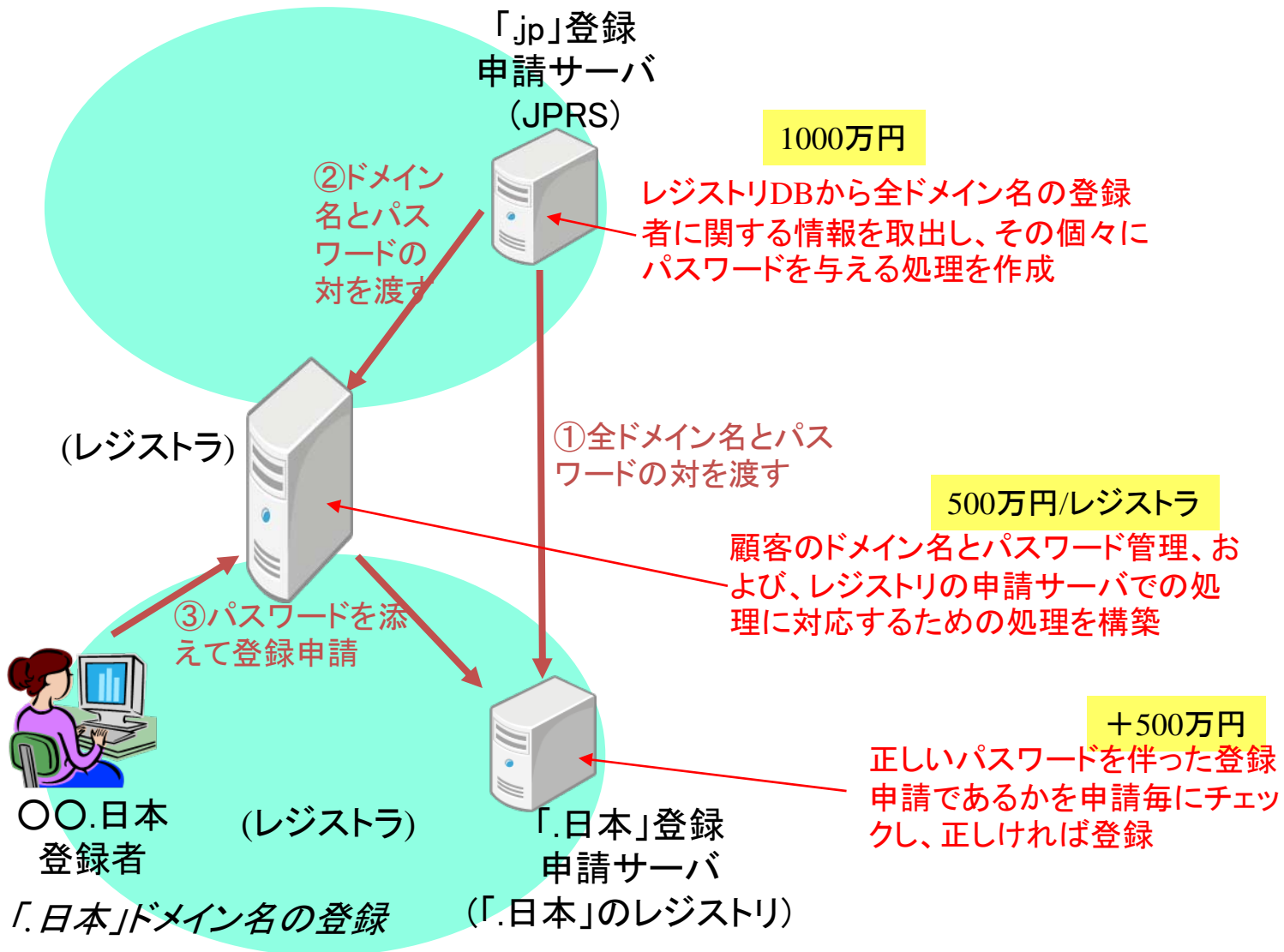
<〇〇.日本」削除処理>

.....

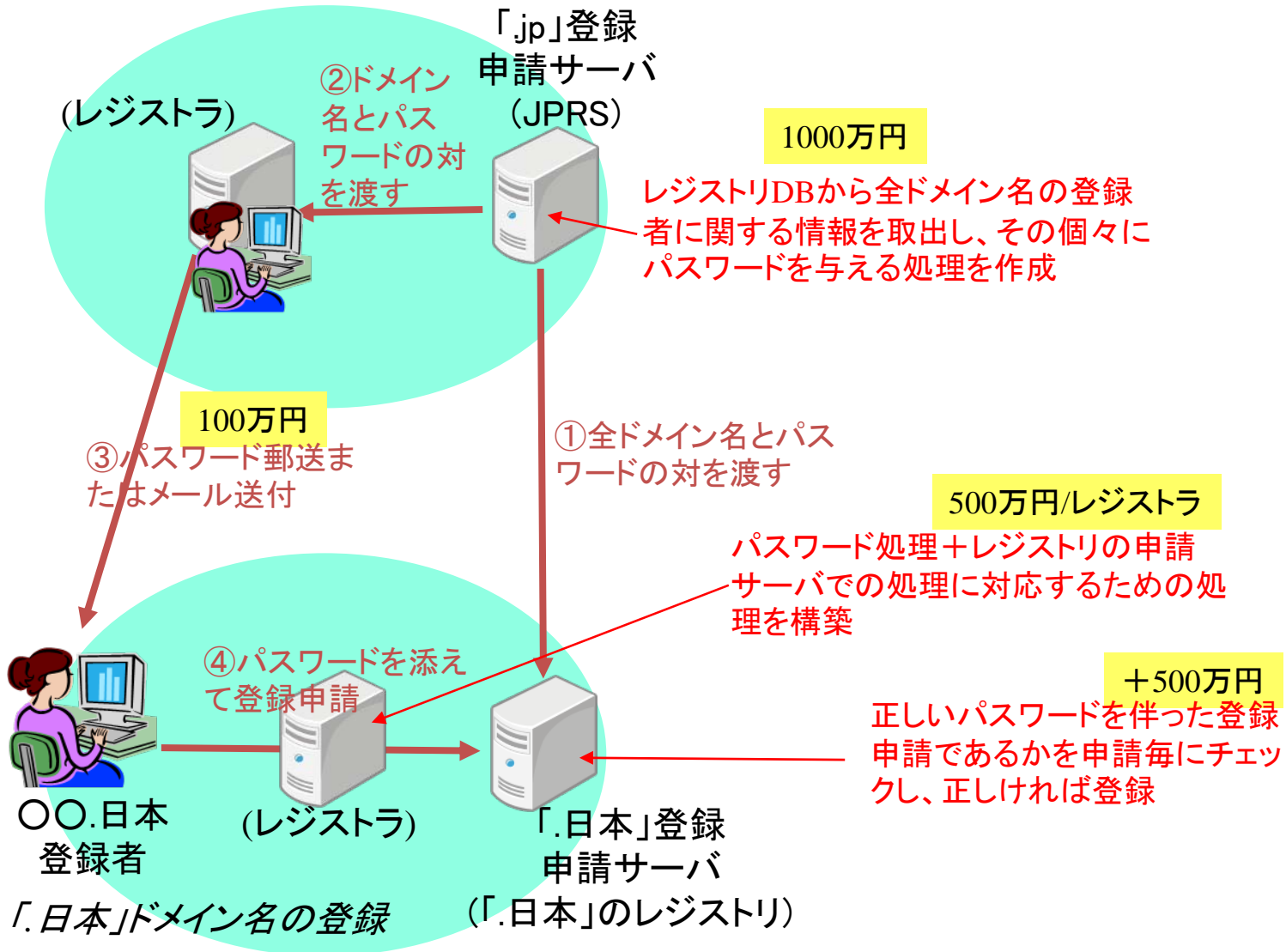
タイプ2-1の一致確認に必要な処理



タイプ2-2の一致確認に必要な処理



タイプ2-3の一致確認に必要な処理



タイプ2-4の一致確認に必要な処理

